



THE SUGGESTION

# 提言

中小企業組合総合研究所機関紙

7月1日  
第222号(2024年)

## 提言・約束事

1. 基本的には読者参加型の提言新聞とします。併せてニュース解説や話題を提供します。
2. 投稿の場合、社会規範に反するものは受け付けません。原稿掲載はスペース等の関係もあり編集者の判断にお任せ下さい。

発行所

一般社団法人 中小企業組合総合研究所  
〒533-0032 大阪市東淀川区淡路3-6-31 協同会館アソシエ2F  
電話 06-6328-5577 FAX 06-6328-5588  
URL http://www.kumiaisouken.com/

## 闘う相手を間違えてはいないか 現関生支部・湯川指導部に問う

問合せ先・連帯労組 関生支部  
大阪市西区川口2丁目4番28号  
電話 06-65583355 46

2018年からの全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部(関生支部)への弾圧以降、関西生コン業界は混迷を極めていく。権力・セメント資本・大手セメントと結託した協同組合は勝手気ままに我が物顔で立ち振る舞い、それに対抗すべき関生支部は、すっかり変質してしまひ、まったく役目を果たしていない。今春闘でも明確な方針を示せないばかりか、学働館・関生を売却するなど、先達が築き上げてきた歴史や財産を食いつぶす事に何の恥じらみも感じていない。変質した執行部に乗り取られた関生支部に問う。関生支部組合員有志が今度問う。

今日まで数々の不正、ごまかし、詐欺まがいの行為を繰り返して、現役組合員からの質問(前号・前々号参照)には何一つ答えない。「情報管理」と称して組合内部統制を固り、内部にスパイがいる事を知りながら、2020年7月3日の中央委員会で「スパイが内部にいる。明らかにせず、闘う相手には情報

がじゃじゃ漏れとは、組合民主主義に反するばかりでなく、完全に統治能力を喪失しているものである。敵と闘う事なく、敵に媚びる事により、延命しようとしていると思われ、それは関生支部の歴史を冒瀆しているのみならず、組合員の生活と権利を守り、発展さ

せる事はできないのである。そこで問う事は、なぜ闘いの総括をせず、闘う方針を提示しないかを問うものである。2018年8月以降の権力と大阪広域生コンクリート協同組合とが一体となった権力弾圧に対して闘うのは当然の事であるが、この弾圧以来、今日まで、敵の攻撃に対する有効なる闘いとは裁判闘争だけでは無いのか? 闘う相手とは権力だけでなく、協同組合と権力に同調する一部企業ではないのか? 今まで何をしてきたか明らかにすべきである。

### 数多の不誠実な対応を繰り返す 自身の延命には熱心な現執行部

①2020年8月、新淀生コンの工場敷地(2000坪)に生コン工場建設が計画され、これが実行体制に入ると、現関生支部は「セメントサイロを造る」とそれを阻止した。しかし今日までセメントサイロは建設されていない。「セメントサイロを造る」というのは、生コン工場を造らせないための嘘であったのであるが、これ

は敵を追いつめる事を放棄したのではないか。  
②2020年7月3日の中央委員会の席で、ティ1ワイケイ高槻生コンの労使紛争を解決すべく代表者による交渉を求めたところ、七牟礼副委員長は「これからはトップ交渉はしないようになっている」として「トップ交渉は拒否する。これからは集団的に解決する」として

参加しているか明らかにされていない。これを明らかにすることを求める。新淀生コンと今栖生コン(旧島本生コン)の2社と聞いて、何が事実かどうか?  
⑥関生支部50周年記念行事として建設した学働館・関生を、カンパなど支援をしてきた方々への了解を得る事なく一方的に売り渡しているが、その売り価格と、何の目的で売ったのかを明らかにすることを求める。また、その金は誰が管理しているか、明らかにする事。  
⑦2022年4月8日の「武建」と共に歩む会」からの質問に対する回答や、2024年5月31日の現役組合員からの質問に回答がないが、これは何故かを明らかにすることを求める。  
⑧この闘いは、現関生支部・湯川執行部が、やるべき事を実行しておれば闘いの局面を打開し、勝利のメドはついていたのである。それは、闘いにおいて敵の弱点に刺さり込む要求と、目標を設定し、闘いを集中する事である。

### 「関生」をかたる資格のない 執行部に牛耳られた現関生支部

新淀生コン敷地内に新プラントを建設して、新淀生コンと今栖生コン(旧島本生コン)、ティ1ワイケイ高槻生コンの3工場が連携して闘えば、集約と組合排除の協同組合に鉄槌を下せていたのである。これをせず、今も苦境打開の方針が出せない状況である。「不当弾圧反対」で闘うのは当然だが、それだけに依存して敵を追いつめる方針と行動がないではないか。  
組合員は、半日1万2000円の仕事と滋賀県の遠隔地までアルバイトに向いている実態から、心身とも疲労困憊となっており苦しんでいる。  
一方幹部は、毎月40万円以上の収入を得ており、そのお金は50周年記念の学働館・関生を売った金を利用して、事務所にたむろして、作戦などそつちのけである。そのような事で組織拡大等ができるはずもないのである。  
関生支部の幹部は、組合員はもとより、多くの労働者から「人の痛みは己の痛み」と感じられる労働者のリーダーとして、質素・儉約で、頼られる・求められる幹部としての役割と責任を果たし、組合員の利益、権利を守る闘争に取り組んできたものである。  
このような資質を放棄した現在の関生支部幹部は、関生支部の歴史的運動成果を語る資格はもとより、幹部として居座ることは恥すべき行為である。今日の苦境の原因を作り続けている事の結果責任を取るべきではないか。関生支部の歴史について「リセット」と称して否定しているが、それは関生支部を語る資格



関生支部は労働組合としての本分を尽くせ

### 四季折々 誰のための政治

連日、テレビから流れてくるニュースを見ていると、ため息が出る事が多くなります。  
政治資金規正法改正問題で、自民党は争点となっている①収支報告書の議員の責任と罰則(連座制)②政治資金パーティー券購入者の開示基準③政治活動費の扱いについて十分な議論を行わず、過去から長く続いている「政治とカネの問題」を放置したまま、今国会会期末までに採決を図ろうとしています。  
また大阪においては、維新の会が2015年と2020年に、大阪市民から必要なしと否決された「大阪都構想」を、これまでの大阪府市だけでなく大阪府全体の有権者を対象に拡大して、性懲りも無く3度目の住民投票を行なうことを匂わせています。二体誰のための政治かを向いての政治なのか、理解が出来ないし、わかりません。  
6月23日で会期末を迎えますが、会期を延長し、審議をつくりながら改定案で採決されるのか、注目を集めることと思われ  
2024年6月13日  
関生支部組合員有志

# 基地のない平和な沖縄、そして日本を 第15期沖縄意見広告運動 報告集会

沖縄意見広告運動は6月9日、日本教育会館(東京都千代田区)で「第15期沖縄意見広告運動報告集会」を開催した。同運動は、市民から寄せられた基金をもとに、毎年、意見広告の掲載を行なっている。今年は全国から1万5813件(5月15日締め切り時点)の賛同を得て6月2日の「沖縄タイムス」と「琉球新報」の沖縄2紙、および「朝日新聞」の3紙朝刊に見開き全面広告の掲載を行なった(6面に関連記事)。この記事は、YouTubeで配信された報告集会の内容を、提言編集部の責任でまとめたものである。

## 絶対に諦めない

伊達判決を生かす会 共同代表  
土屋源太郎



この15年間で日本の国撃ができるようになり、は大きく変わりました。武器輸出の解禁まで行なうとしました。さらに先自衛権行使が認められ、安保法制が成立し、さらには「安保3文書」の解釈を悪用して敵基地攻撃を悪用して敵基地攻撃

も対する事を平気で行なっています。本当に国民の命を危険に晒すというような状況になっているのです。そんな政権を絶対に許せません。やはり闘いを強めていく、何よりもそれが大事だと思います。私は90歳になりますが、絶対に闘いは諦めません。皆さん一緒にこれからも闘いましょう。



2016年から2022年の6年計画では、南西諸島各地に建設される自衛隊ミサイル基地の目的は、南西諸島へ侵襲しようにとする敵の上陸を阻止するためとされています。しかし、完成後には大陸を攻撃する長射程の敵基地攻撃ミサイルを配備する事を明らかにしました。敵基地攻撃ミサイルが配備される事は、他国に攻撃される脅威を

## 安保3文書は「亡国の取り組み」

参議院議員 伊波洋一

※1957年、東京都北多摩郡砂川町(現・立川市)にあった在日米軍立川飛行場の拡張に反対する「砂川闘争」で7人の若者が逮捕された。地裁では「基地の存在そのものが憲法9条に違反である」と判定し全員無罪となった(いわゆる「伊達判決」)。窮地に立った国は高裁を飛び越えて最高裁に跳躍上告し、有罪判決が確定した。関係者が次々亡くなる中、土屋氏は最後の生存者。

威を与えるものになり、多くの県民にとっても再び沖縄が戦場にされるといふ不安を持つ事になります。

山諸島や宮古島諸島などの住民約12万人を、九州や山口県などへ避難させる計画が、内閣官房の指導の下で今年度に制定されようとしています。全住民を避難させ、日米が2022年に策定をした「日米共同作戦」の戦争遂行を計画通りに行なおうとしていると考えられます。南西諸島ではもう戦時体制に入っているのです。

平和的解決を  
中国は日本の最大の貿易相手国であり、日本の全輸出入貿易量の総量の26.5%を占め、進出企業も3万社を超えています。日本の成長は、近年の中国の経済成長に助けられてきたと言っても過言ではありません。その中国と戦争をして、甚大な被害を被った日本が、果たして回復する事ができるのでしょうか。

市民の力で基地建設撤回  
沖繩・へり基地反対協議会 顧問 安次富浩



現在、私は週に2〜3回、ゲート前の現場で座り込みをしています。私たちが抵抗をしている、最も言いたい事は、そこ

海を埋めるな 山を削るな  
作家・詩人 池澤夏樹

だろ」と考えました。先ほども話がありましたが、マヨネーズと言われる軟弱地盤に加え、その辺りの水深は60〜90mです。こんな深い所で普通なら埋立てはしません。出来ないので、作るのは「サンドパイル」という管を何

防衛大臣は訓練場整備断念を表明しました。私がここで言いたかったのは、市民の力で国の防衛政策の一つである自衛隊の射撃場計画を潰したという事です。

ひたすら工事をするフリをします。完成まで何年かかっても構わない。その間、普天間の生活環境がいかに悪くても、軍用機の爆音がどんなに酷くても構わない。ただ形だけ辺野古で工事を進める。この仕事は内地の大きな建設会社がほとんど請け負っています。そしてこれは公共事業です。公共事業というのはいくつか、誰もしません。だから、トラックの空回りぐらいの事は何でもありません。事が万事そうやって、お金が予算から降りてきて、内地の大きな会社に回収されて、また内地へ帰って行く。それが今の政権を様々な形で支えているのです。

**問題なのはヤマト**

今日の講演の主題は「ヤマト問題と憲法」という事ですが、なぜ「ヤマト問題」なのか。よく「沖縄問題」と言いますが、そうではないのです。問題なのは「日本国」マイナスイメージ「沖縄」です。その根本にあるのは、やはり憲法なんです。大田元知事が言うには、1972年の返還の時、本当に日本に還るのか、それとも沖縄として独立するのか、両論があったそうです。太田さんは「あの憲法がある国だから日本に還ろう」という意見を持っていました。それで日本に復



平和の礎

帰しました。ところが復讐してみると日本国憲法が沖縄にだけ適用されないのです。代わりにあったのが日米安保条約であり日米地位協定です。日本の戦後というのは、日本国憲法があり、その上に日米安保条約があるという形になっているのです。だから裁判所は憲法問題になると判断を停止してしまいます。これは二国のあり方として、とてもみともない。「ナショナルリズム」というのは、本来は自主独立、自分で自分の運命を決める、そういう事の上で成り立つのではないのですか。

**数字ではなく名前を**

「平和の礎」を御存じですか。沖縄の糸満にある、戦争で亡くなった方たちを追悼する施設です。24万人の名前が刻んであります。沖縄戦で亡くなった方、日本の兵士、沖縄の現地の民間人、それから朝鮮から連れてこられた兵士、台湾から連れてこられた兵士、それからアメリカ兵の名前が刻まれている。

います。あの戦争で死んだという事だけが、ここに名前を連ねる条件です。毎年調査をしていますから、この数が毎年増えていきます。でも、この24万を「数字」にしてはいけません。だから「名前」を刻むんです。名前を見れば、そこにそういう名前の人があるという事から、本土地に送られた兵士や、戦死した人々、当然ながら全部男性なのが分かりません。ところが沖縄の方で亡くなった名前を見るとうちでも半分は女性なんです。つまり自分が住んでいる土地が戦場になる、そういう事なんです。女性の半分が死ぬ、子供が死ぬ、それを痛感する場所です。でもやっぱり数字にしてはいけません。

戦争の現実というのはそういう事です。上の方で偉そうな事を言うのは簡単です。戦争というのは勇ましいですから、ワイワイ言っていると、それが「数字」といって思いたがる。国が上手く行かない時に「敵はあいつだ」と外に敵を用意して、そちらに向けてどんどん行くと気持ちがいいです。でも負け始めたら、この先は本地上手な政治が必要なんです。そのぐらい戦争というのは終わらせにくいものです。それが全部集約されているのが今の沖縄なんです。今の辺野古なんです。全部繋がっているんです。繋がっている事を心にとめて反対しましょう、辺野古に。海を埋めないでください。山を削らないでください。

**目撃者になる**

法政大名譽教授 田中優子



4月14日に私が代表をされている「平和を求め軍拡を許さない女性たちの会」が主催してシンポジウムを行いました。この会は2022年12月の岸田政権による「安保3文書」がきっかけでした。多くの

女性たちが怒ったんです。そういう、まず軍拡を止めさせるといふ事から始まったのですが、何回目からか、映画監督の三上智恵さんに来ていただいたんです。「戦雲(いくさぐも)」という映画が今春に公開されましたが、これをきっかけにして、私は三上さんの映画を何本も観ました。その中で、いろんな事が実によ

く分かったんですね。三上監督は「沖縄ではなく日本人の問題です。自分の袖に火がついてしまよ」と、それから「今からでも遅くはない。共に目撃者になり、今という歴史を背負う当事者になつてほしい」と私たちが一番考えないといけないメッセージをくださいました。つまり「目撃者になる」という事です。私はこれがとても大事だと思いました。私たちがみんな沖縄に行つて、毎日運動するとうちには行きませんとだけども目撃者にならなければいけません。情報を見る、それから今はインターネットでも情報はかなり入ってきます。そういうふうにして私たちが目撃するためにはどうしたらいいか。それは三上監督のように、人々に肉薄してそれを伝えてくれる人たちの眼差しを借りて、それから言葉を借りて、目撃しましょうという事です。知りましようという事です。知れば知るほど、これは大変な事になっていきます。しかも、それは突然起った事ではなく、10年前からこういう状態が続いているのだという事がこの三上監督の作品を観ると分かります。それが本当に身に迫ってきます。ですから私たちの問題なんです。その意味で、今日ぜひこの映画を観てほしいとい

う事をお伝えする事にしました。皆さんご存じのように、地方自治法の改正というのがあるんですが、これは何かと「国の言う通りにしなさい」という事です。国と地方自治体が対立関係に陥った時に何が起っているのか、見えないというのが怖いんです。少なくとも情報公開して欲しいです。そういう観点から見ると、東京都知事は交代しないとか、報道を止めてしまわないで、自分についてもウソをついているぐらいです。政治家がウソをつくというのが当たり前のようになっていくのですが、政治家はウソをついてはいけないのです。ウソをつく政治家を選んではいけません。ウソをつく政治家はいろんな事でウソをつきます。隠す政治家はいろんな事を隠します。それは私たちの明日に繋がります。「虚偽記載」という言葉がありますが、あれは「ウソをついてます」という意味です。ですから私たちはウソをつく政治家を選んではいけません。それが本当に身に迫ってきます。ですから私たちの問題なんです。その意味で、今日ぜひこの映画を観てほしいとい

私「ああそうだったんだ」と気が付いたのです。憲法9条で「軍備は持たない」としました。ところが朝鮮戦争が始まると、アメリカの要請で警察予備隊が作られました。これが自衛隊になるわけです。自衛隊は1950年から1960年あたりまで10年ぐらいかかつて、少しずつ整備されていきます。そしてそれが終わった1960年に日米安保条約に岸首相がサインをします。「軍備の廃棄」と「自衛隊がある」という事、この二つの事は矛盾しているのに、ずっと私たちは戦後の日本の中でこの矛盾を見つめながら生きてきたわけです。自衛隊が「違憲」なのか「合憲」なのかという事を迷いながらずっとこの状況を見て、矛盾の中にまだ、矛盾と共に生きていくわけなんです。それをいきなりどうする、それを考え、その結果として起っている、沖縄の状況はやはり目撃しなければいけません。三上さんのこの映画をお作りになるでしょうけど、いろんな方がいろんなふうにならなければいけません。あるいは自分自身が伝える側になるという事も大事な事だと思えます。

**ウソだらけの政治家**

皆さんご存じのように、地方自治法の改正というのがあるんですが、これは何かと「国の言う通りにしなさい」という事です。国と地方自治体が対立関係に陥った時に何が起っているのか、見えないというのが怖いんです。少なくとも情報公開して欲しいです。そういう観点から見ると、東京都知事は交代しないとか、報道を止めてしまわないで、自分についてもウソをついているぐらいです。政治家がウソをつくというのが当たり前のようになっていくのですが、政治家はウソをついてはいけないのです。ウソをつく政治家を選んではいけません。ウソをつく政治家はいろんな事でウソをつきます。隠す政治家はいろんな事を隠します。それは私たちの明日に繋がります。「虚偽記載」という言葉がありますが、あれは「ウソをついてます」という意味です。ですから私たちはウソをつく政治家を選んではいけません。それが本当に身に迫ってきます。ですから私たちの問題なんです。その意味で、今日ぜひこの映画を観てほしいとい

の状況を、矛盾の中に分割があると思っています。この15年の中ではいろんな事があった訳ですが、例えば2019年に沖縄では辺野古新基地建設を巡って県民投票が行なわれ、7割の方が辺野古新基地建設に「ノー」という意思を表明しました。その結果を受けて岩屋防衛大臣は「沖縄には沖縄の民意がある。沖縄には沖縄の民主主義がある。しかし国には国の民主主義がある」と言いました。これは「沖縄の民意は日本の中の一部であり、日本全体の見解は違う」という事を彼は言いたかったのかもしれない。問われているのは日本全国の民意、日本全国の民主主義だと思えます。その意味で、沖縄の新基地建設に反対をし、そしてこの南西諸島を中心に沖縄の軍事要塞化が進んでいる事に反対しているのは沖縄だけではない。日本全国の世論が反対しているという事を「見える化」する事はますます重要になって来ているのではないかなと思います。

**世論の反対を「見える化」**

ピースポット 共同代表 野平晋作



私はこの沖縄意見広告運動の役割として、つは世論を「見える化」という役割が、もう一つは、

この見開き2面の意見広告を出す事によって、これまでこの問題を意識していなかった方が意識するきっかけを作るといふ役

**記録集『15年の歩み』(仮)を発行します**

沖縄意見広告運動は、15年の節目を迎えた今期終了後に、『15年の歩み』(仮称)の記録集を発行する予定です。その発行のための諸費用のご寄付を募ります。ご寄付いただいた皆さまに、この記録集をお届けします。皆さまのご支援を心よりお願いします。

ご寄付は、下記の郵便振替口座に「記録集・寄付」とお書きください。

口座番号：00100-9-265224  
加入者名：沖縄意見広告運動



第15期報告集をYouTubeで配信しています

# 資本主義は限界 共生協同社会の実現を 組合総研 第20回定時総会 開催

6月21日、一般社団法人中小企業組合総合研究所(組合総研)は協同会館アソシエ(大阪市東淀川区)で第20回定時総会を開催した。昨春の「コロナウィルスの5類移行」を受けて、経済活動も元に戻りつつある昨今ではあるが、デフレからインフレへと経済が大転換し、物価高騰で多くの国民の生活は苦しくなるばかりだ。富める者としていない者との格差をどう解消していくのか、今こそ志を同じくする人々との連帯が日本再生への鍵となる。

初めに、全社員数中3分の2以上委任状含む)の出席を満したため総会が成立した事が宣言された後、組合総研定款に基づき武建・代表理事を総会議長に選出、議事進行を行なった。

まず事務局から第1号議案「2023年度事業報告」および監査役から「2023年度監査報告」がされ、事業報告の中で



は、2020年初頭からのコロナウィルスの感染拡大のため、組合総研が例年より本質を明らかにしてきた報道姿勢により「提言」紙で初めて真実を知ったなどの声も寄せられた。各々、高騰から高い評価を得ている事が報告された。

続いて第2号議案「2024年度事業計画(案)」と「2024年度収支予算(案)」が事務局から提案された。この中で次年度事業計画における重点政策として、組織力強化と質の向上や「提言」紙の紙面充実、経営者・労働者に対する教育事業の取り組み、会員間の交流の促進などが上程され、慎重審議の上、拍手をもつての満場一致で全ての議案が承認された。

今年の春闘で昨年以上の高額回答が続出した大企業とは違い、中小零細企業の厳しい状況は何ら変わっていない。大企業は昨今の値上げブームに便

乗して、空前の利益を上げていて、一方で、コスト増を価格に転嫁することによって、中小零細企業は、顧客満足度を維持するため従業員を犠牲にせざるを得ない厳しい状況が続いている。

一方、物価高騰に加え、十分な賃上げも得られず、厳しい状況にある多くの国民の現状を知ってか知らずか、岸田政権は自らのパーティー券不正をやみやで済ませ、政治資金規程改正も「ザル法」と揶揄されるほど骨抜きにし、国の主役であるはずの国民を馬鹿にしているかのような取り回しで不満を買っている。その影響で支持率は下降の一途を辿り、自公連立政権も「終りの始まり」といえる。

2017年12月のストライキ以降、大阪広域生コンクリート協同組合(広域協組)を中心とした勢力が仕掛けてきた弾圧に對して、本来なら対抗すべき存在である全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部(関生支部)は、敵に擦り寄り、とて自らの延命を図ることに終始し、裁判以外なら攻撃もせず、組合員

にはのみ執着している。このような現状を明らかにし、生コン産業の健全化を実現するために、我々「中小企業組合総合研究所」の担うべき、果たすべき役割は非常に大きく重要である事が確認された定時総会であった。

値下げをしました。その結果、多くの中小企業が倒産しました。どうにも行かなくなった広域協組は2015年に「もう一度関生に協力をお願いする」という事で、我々が一緒になつて3つあった協同組合を一本にしてスタートしたのが現在の広域協組です。

ところが、関生支部の主導的な方向で纏まったものの、それはただ利用しただけで、関生支部をこの機会に何とか潰せる方向に持って行き、その成果だけはいたさうと。それが値上げで、それによって結集力を高めようとした。もともと値上げの基礎を作ったのは我々なのですが、あなたも彼らが基礎を作ったように宣伝をしています。

攻撃された側の関生支部ですが、今まで何度も権力弾圧を受けました。が、やられたらやり返す」というのが基本姿勢です。だから何度も厳しい状況に直面しても、関生支部はそれを乗り越えてきたわけです。ところが、現在の関生支部を運営している連中には、それが全くありません。それどころか、完全に相手の作戦に乗っかってしまいました。その一つは、ユニオン共済(関生支部が株主)が持っている近畿運輸を売却し、そこで働いていた組合員を全員辞めさせる暴挙に出ました。それからコピーキリース、この組合員も全員辞めさせて、そしてその株と代表者を荷主の都合のいい人に譲ってしまったわけです。



## 経済と産業の民主化を目指して 組合総研代表理事 武建一

このところ広域協組は、また「来年値上げをする」という事を言っています。今までは「50000円上げる」とか「値段はまだ決まっていないが4月から値上げする」と言ったりしていました。現在、東京ではmあたり2万1800円です。そうすると大阪の値段だけが高いという事になるわけです。現在大阪・兵庫の2万5800円でも利益が出てくるのに、さらなる値上げとなると、世の中が認められるかと思うのです。おそらくこれは、値上げが出来るかどうかという事を、二つの求心力に使うとしていて、ではないでしようか。「値上げ」となれば、現執行部に不満があつても付いて行く、そう協

同組合員の関心を引くために言っている可能性があります。もう一つ考えられる事ですが、新しい動きに対して、もし値上げが上手く行かなかった場合の責任転嫁する事に利用しようとしている事も考えられるわけです。

今、広域協組は安定期に入っていますが、もともと関生支部が無ければ、現在の広域協組は大同団結できませんでした。2010年に行なつた4ヵ月半のストライキに対し、この時には1万6800円まで値上げをしました。が、この値上げを潰したのが現在の木村理事長なのです。なぜ彼らは値上げを潰したのか。「労働組合主導型で値上げが実現するのは商取引の常道に反する」と言い「あれは関生が勝手に決めたから白紙にする」という事で

これらを見ると「やられたらやり返す」ではなく「やられたら相手のやり方に媚びる」、それによつて自分らの飯の種を確保するというところまで成り下がっています。しかし実態としては利用されているだけで相手にしていません。

現状は厳しいです。二面では厳しく見えますが、もう一つの側面では新しい光が見えている、という事に確信を持っています。確信を持っています。

出ない。今、関生支部は完全に御用組合になってしまっています。業界の中では「関生」の話題すら出てこなくなりました。これを何とかして、またともにしよう。我々は「共に歩む会」や「再生委員会」を作ったり、あるいは労働者が中心になる「近畿労働者協同組合」をスタートさせています。もう少し時間はかかりますが、必ず成功すると信じています。

光明は見えている。この組合総研の役割は、業界そのものをまとめるために尽力すること。必要なら労働組合をまとめるために非常に重要な役割を果たすわけですから、その基本理念である「経済の民主化」、それを指して活動してきます。

現在、弾圧などの影響もあり、厳しい状況ではありますが、近いうちには新しい動きが出てきて、それによつて大きな流れがまた変わってくる。確信を持っています。その意味で、先は明るいと思っております。



協同会館アソシエ

# 地域アンビエントの芽(63)

京都大学名誉教授 本山美彦

## 種子をめぐる勢力(9)

### 耕すことの深い意味

現在の世界の主流である「事実」としての「営農」をほとんど持つていない。そもそも、こうした元の違う領域のどちらが正しくて、どちらが誤っているのかを判断すること自体が無謀な試みなのである。

現在の主流である農法の最重要の基本は、土を耕す「耕起栽培」という点にある。長い長い経験を手放していない。それに対して批判する側は、違う。「理念」を主張するだ



農業と発電を両立させるソーラーシェーディング

固く締まってしまう土を軟らかくすることに。それによって、土中の通水性や通気性は良くなる。除草効果もある。耕すことによって、土の表面に付いている、前の栽培物の残りカス「残渣」や、雑草などが、土の中に埋め込まれる。そうした作業の継続によって、新たな雑草の発芽を抑え、次の播種に備えることができる。

耕すことの目的は、「土効果」というものがある。土が乾燥したり凍結して脱水されると、土の中に含まれていた有機成分の腐植(腐りかけた植物繊維の分解)が進む。この乾燥した土壌をふたたび湿らせるか、湛水状態にすると、乾燥を受けなかった場合に比べて盛んに微生物が働いて、腐植を促進させる。その結果、アンモニア態窒素の生成量が著しく増加し、土の質がよくなる。この現象が乾土効果である。冬期に水田の土を掘り返して、よく乾燥させると水稲の生育がよくなることは、昔から経験的に知られていた。

そうした隘路打開策の有力な一つが、「営農型太陽光発電ソーラーシェーディング」と「不耕起栽培」を組み合わせた「環境再生型農業」の試みなのである。実際に着手され始めたのは、2010年代からにすぎないので、そこに携わる人々に共通の認識が形成されているわけではない。

ソーラーシェーディングは、植物の「光飽和点」を利用したものである。「光飽和点」とは、これ以上光を強くしても光合成の量が増えなくなる点である。一般に、光が強い点では、光が強い量が多くなる。しかしある点を超えると、それ以上光を強くしても光合成の量が上がらなくなる。栽培されているほとんどの作物に、光飽和点は存在している。この性質を利用し、農作物を栽培中の畑の上部で太陽光発電を行なうのが、ソーラーシェーディングである。これは、光飽和点を超えて注ぐ太陽光を余剰なエネルギーと考え、それを使って発電を行なうのである。ソーラーシェーディングは、

「ソーラーシェーディング」と「不耕起栽培」との結合

農地に支柱を立て上部に太陽光パネルを設定して、野菜は今まで通り栽培しながら太陽光発電をする技術である。これまでの太陽光発電は大型のソーラーパネルを隙間なくつなぐというものであった。しかし、それでは、山を削ったり、田畑を潰してしまう。

生命を維持するために体内で行なわれる化学的プロセスの集合体を代謝という。生物の代謝には、無数の化学物質が関与している。これらの化合物が代謝産物と呼ばれる。これらの産物を「二次代謝産物」と呼ぶ。二次代謝産物が成長や発達、生殖に直接関与するのに対して、二次代謝産物は体内で重要な生態的機能を果たしながら間接的に代謝に関与することである。

動くことのできない植物は、自らの生きている環境で生き抜くため、様々な方法で二次代謝産物を活用してきた。例えば、次世代を残すために必要な花を目立たせるため、色素として利用したり、乾燥や低温などの環境ストレスに適応するために利用したりとか、二次代謝産物は、様々な目的によって、異なった構造を持つようになった。いままで、植物の世界では「万種類以上という大きな化合物群」になっている。一次代謝産物が成長や発達、生殖に直接関与するのに対して、二次代謝産物は体内で重要な生態的機能を果たしながら間接的に代謝に関与しているのである。(主として) [https://www.br-hco.jp/publication/journal/044/research\\_21](https://www.br-hco.jp/publication/journal/044/research_21)。



ダイズの根粒。丸いのが根粒。よじりに見えるのが根粒。

## 提言文芸

憲法は権力暴走 縛るもの(憲法窮状)  
物価高見ない、買わない 家畜ない(フラダンスの犬)  
独裁を生む背景に 無関心(小林一首)

権力の暴走や、不安による物価高などを許している背景には、政治への無関心、諦めがあります。政治家は「国民から負託されて」と言いますが、当選したら「元過ぎれば熱さを忘れるの」とく做慢で独善な政治権力者の座に居座るのも事実です。

社会資本政策研究会  
〒533-0032 大阪市東淀川区淡路三丁目六番一三  
電話 (06) 4862-1400  
FAX (06) 4862-1400

サンセイ生コンクリート株式会社  
代表取締役 稲村 義 昭  
〒651-1412 兵庫県西宮市山崎町下山口六五  
電話 (078) 904-1369  
FAX (078) 904-1107

関連団体を支援する会  
KU

関西生コン関連経営者会

吉野建設株式会社

# 他人ごとではない。オキナワは自分ごと。

## 1万5813件の賛同を得て3紙に広告掲載

見運動  
意運  
沖縄  
広

辺野古新基地建設に反対する市民や有識者らで作る「沖縄意見広告運動」は6月2日の「沖縄タイムス」と「琉球新報」の沖縄2紙および「朝日新聞」の3紙朝刊に、見開き2ページ全面カラーの意見広告掲載を行ない、米軍基地を抱える沖縄の過重な負担解消と、近づく戦争の靴音への危機感を訴えた。

沖縄意見広告運動は、13件(5月15日締め切り時点)。紙面では見開き2ページを使って、「他人ごとではない。オキナワは自分ごと。」「私たちは民意無視の強権に屈しない!」と大きく掲載。民が発起人となり、2010年に運動を開始。市民から寄せられた基金をもとに毎年「沖縄タイムス」と「琉球新報」の沖縄2紙と全国紙に全面広告掲載を行なっている。



報告集会を開催  
日本教育会館

今回の広告に賛同した個人や団体は計1万5813件。特定利用空港、

港湾に7道県の施設が選ばれたことも挙げて「自分ごと」として考えるよう呼びかけた。

沖縄意見広告運動の全国世話人らは、広告掲載を前にした5月27日に参議院会館(東京都)内で記者会見し、非政府組

### ご賛同ありがとうございました 沖縄意見広告運動事務局

第15期広告掲載の趣旨について

沖縄意見広告運動も今回で15期になります。15年前に始めた時の広告は2ページではなくて1ページで、賛同者は3000件ぐらいでした。今回は1万5813件と約5倍

になっています。これも皆様のおかげです。本当に心

行ないました。地方の自治権というのは憲法で保障されており、国と地方は平等であるという事を覆して代執行を行ないました。その暴挙に対しての抗議と、辺野古新基地建設が、軟弱地盤や活断層の存在で不可能であるという事がはつきりとかついているのに、日米両政府は「辺野古が唯一である」と言い張り工事を強行している事に対して、たとえ代執行したとしても、沖縄の県民の民意と心だけは埋め立てる事は出来ないぞという事です。それは今なお現場で座り込んで闘っておられる沖縄県民の皆さんのお気持ちでもあるし、諦めない事が勝利を得る事だという事で、闘い続けておられる方と私たちとの、この広告を通じた連帯です。

それから第二に、4月の日米首脳会談で岸田首相は、国会での論議も、国民への説明も経ずに、アメリカが考えている「米軍と自衛隊を一体化し、東京に統一指令部を作り、南西諸島、琉球諸島にミサイル基地を作り、対中国戦争の最前線の軍事要塞化する」という事を進めています。それは沖縄だけの問題ではありません。日本にある米軍基地や自衛隊基地だけではなく、日本の港、空港を進軍利用する計画が進

んでいます。そういう形で、戦場の拠点になるのが沖縄だけではなく日本全土がそうなる事に対して、この広告では「沖縄を、本土を戦場にさせない!」という事を訴えました。それから三つ目は、そんな国のあり方というものをお私たちは聞きたい、あるいは聞かねばなりません。そして戦後の沖縄に対する差別、米軍基地を押し付けて良しとする構造的な差別を、歴史的にも構造として組み込んでいる日本のあり方を聞きたいのです。ちょうど今、沖縄県選中です。もうすぐ都知事選もあります。衆議院の解散、総選挙もあるでしょう。そこで、私たちが自分たちのこの国の民主主義のあり方を、自分たちや子供や孫の未来を決めていくのは私たちが決めるべきです。今日はこの一つの集いのスローガンとして載せさせていただいたわけです。

この結果を受けて大の里は新関脇に昇進し、年内には一気に大関へと駆け上がる可能性もある。三月場所所で110年ぶりとなる新人幕優勝を果たした尊富士(伊勢ヶ濱部屋)は、怪我が完治せず五月場所を全休したため、七月場所番付では十両に陥落したが、このままでは終わらないだろう。所から目が離せない。

## 頑張れ尾上部屋 正念場の名古屋場所

大相撲七月場所(7月14日初日・ドルフィンズアリーナ/愛知県体育館)が開催されるのに先立ち、7月1日に日本相撲協会から新番付が発表された。

五月場所(両国国技館) このところ大の里や、新小結の大の里(石川ヶ濱部屋)など、若い力が初土俵から所要7場所目での幕内優勝を果たし、能登半島地震の被災地を勇気づけた。

一方、組合総研も応援盛り上げてもらいたい。

七月場所 尾上部屋力士番付

【幕下】	西18枚目	☆城間	西55枚目	☆伊波
	東24枚目	☆春山	東32枚目	☆玄武丸
	西56枚目	☆北天海	西45枚目	☆照寶
【三段目】	西4枚目	☆穂高	西67枚目	☆九鬼王
	東5枚目	☆大海	西69枚目	☆富士の輝
	東37枚目	☆坂林	東79枚目	☆高倉山
	西39枚目	☆高馬山		

☆印は番付上昇の力士

### アンケートご協力をお願い

平素、「提言」読者の皆様にはお世話になり、厚く御礼申し上げます。  
「提言」編集部では、よりよい紙面づくりのために広く読者の声をお聞きしたいと考えております。つきましては、ご多忙の事とは存じますが、皆様にアンケートのご協力の程をお願い申し上げます。  
ご回答いただけます場合は、同封のアンケート用紙に記入の上、ファクシミリで返信いただくか、もしくはホームページのアンケート記入フォームからご回答をお寄せください。  
(http://www.kumaisouken.com/questionnaire/questionnaire.html)

ホームページからのご回答はこちら

